

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

オープンキャンパスに訪れたとき、学生さんや先生方がとても親切で、同志社女子大学の温かい雰囲気の魅力を感じました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

とにかく試験科目の基礎固めに集中しました。特に英語の単語はモレがないように何度も単語帳をくり返しました。1日に長い時間をかけて覚えるよりも、通学中などの短い時間を重ねて覚えていくほうがいいと思います。

〔夏休み〕

夏休みには、単語を続けながら、長文問題を1日1題のペースで解くようにしました。はじめは少し短い文章を時間をはかて解き、速く解くことができるように練習しました。だんだんと文章量を増やしていき、速度と正確さを落とさないよう気をつけました。

〔2学期～入試直前〕

試験の1か月くらい前から過去問に取り組み始めました。自分でやり込むのがとても大切だと思います。特に時間や環境などなるべく試験会場と同じように解いて、本番で自分の持っている力を出すことができるように練習しておくのがいいと思います。私はこの時点で英語の文法があまり解けなくて焦りました。ですが、焦って心配ばかりしているよりも、できる問題を増やそうという前向きな考え方で取り組んでいて、点が上がったので、皆さんも前向きに頑張ってください。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

推薦入学試験Sは、当日の試験問題だけでなく、高校の調査書の内容も加味されるため、学校の試験のときから高い点数を目標としていました。また、受験生という勉強に追われる立場でしたが、高校3年生という高校生活最後の年を楽しみたいと思い、行事にも積極的に取り組みました。その分、家は家で集中するように心掛け、勉強を疎かにしないうちにしました。勉強中に他のことを考えるよりも、そのほうが効率がいいと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強中は本当に辛くて、やめたくはりました。ですが、合格を知ったときの喜びのほろが思い出に強く残っています。皆さんの努力が報われるよう、心からお祈りしています。